まちを支える人づくり　スペシャリストへの道

龍野北高校新聞

～地域との共生を図り、明るく活力のある学校～

３年１組（電気）　一色　保乃花

私はこの３年間、資格取得に力を入れて取り組みました。中でも第２種電気工事士は、電気類型に進むと必ず受けますが、２年生では習っていない知識もたくさんあり、苦労しました。実技試験もあり、実習の時間や放課後に友達と教え合いながら練習をし、合格したことも今では良い思い出です。

高校生活で1番の思い出は、今年の龍北祭です。私たちは入学時からコロナ禍で、２年間は縮小した形で行われました。３年目にして初めて取り組んだ屋台は、何が人気なのか、どんな風にするのかなどが分からず大変でした。でも、みんなで協力して準備した甲斐あって、ちゃぶ台返しもたこ焼きもすごく人気でした。最高の思い出です。

３年１組のクラスメイトになれて本当に良かったです。

３年２組（情報）　末吉　悠季

私の高校での３年間は、充実したものだったと思います。３年間、勉強や部活でしんどい時もありましたが、友達と話したり、遊んだりする高校生活は楽しかったです。

高校３年間で学んだことは「友人の大切さ」です。部活においても、勉強においても、友人という存在は自分にとって励みになりました。辛いことがあっても友人と共有することによって最後までやり切ることができました。また、友人がいることで楽しみも増えました。例えば、修学旅行でのスキー・スノーボード体験や、ホテルでのレクリエーション、アクションプランのＵＳＪは、友人がいたからこそ楽しい思い出になったと思います。

龍野北高校で学んだことを活かして、進学後も頑張っていきます。

３年２組（商業）　丸山　愛葉

龍野北高校で過ごした３年間、皆さんは楽しかったですかー？ありきたりな言葉になってしまいましたが、私の高校生活はとても楽しくよく笑った３年間でした。

私はこの高校生活で「青春の尊さ」を学びました。体育大会や龍北祭、修学旅行、アクションプランなどの行事はもちろん、何よりも大切な仲間や先生方と過ごした日々が私の青春時代をかけがえのないものにしてくれました。

これからの人生、嬉しいことや幸せなこと、時には辛いことや悲しいことなどの色々な出来事が待っていると思いますが、高校生活の思い出を旨に楽しんでいきたいと思います。

３年４組（土木）　小林　沙輝人

私はこの３年間で「挑戦」を掲げて過ごしてきました。１つ目は「生徒会」です。私は自分の短所である「大勢の人の前で話すのが苦手」を克服したく体育委員長になりました。体育委員長で一番大変だったことは、体育大会での全校生徒の前でのラジオ体操と選手宣誓です。失敗が怖く緊張する場面でしたが、この舞台を乗り越えると自分の成長を肌で感じる事が出来ました。そしてこの経験は就職試験での面接にも役立ちました。

２つ目は「資格」についてです。私はこの３年間で危険物取扱者乙種全種取得を成し遂げました。将来何かに使うからではなく、挑戦してみたく勉強を始めました。よく周囲から「使わないのに何のために取得するのか」と聞かれますが、私はまず、資格を取得していなければ、そもそもその資格を活用することすらできないので、何に使うのかは取得してから考えれば良いと思っています。皆さんも「挑戦」を忘れず、まず第一歩を踏み出してみて下さい。

３年４組（建築）　八木　星輝

私は、龍野北高校で建築のことについて様々なことを学ぶことができました。また、課題研究では建築設計競技に取り組みました。放課後や夏休みも毎日学校に登校し作品作りに力を注ぎました。とても大変でしたが建築設計の方法やパースの描き方などのたくさんのことを学びました。

部活動ではバドミントン部に入部し、キャプテンを務めました。コロナ禍だったこともあり、試合がなくなったり、思うように練習できなかったりしましたが、仲間と共に高め合うことができ良い思い出になりました。

この３年間は、コロナ禍で龍北祭や体育大会などの規模を縮小して行われましたが、３年生の龍北祭は模擬店ができてよかったです。

３年５組（プロダクトデザイン）　蔡　姫奈

私はプロダクトデザイン類型で製図や皮革などを学んできました。製図の授業では検定に向けて勉強しました。卒業制作では３ＤＣＡＤや３Ｄプリンターを使用して様々な模型を製作しました。初めて使用したのでわからない点も多く難しかったのですが、一つの作品を作り上げる事ができたのと、初めて見る３Ｄプリンターにすごく興奮しました。ＦＳの衣装製作や皮革の授業では、鞄などの小物から実際に着用できるような大きなものまで先生方に教えてもらいながら製作しました。製作していく過程でたくさんの知識を身につけることができ、少し難しいものも自らの力で作り上げる事ができました。この３年間でたくさんの技術や知識を身につけられ、とても良い時間になりました。

３年５組（アートビジュアルデザイン）　清水　穂乃香

この３年間を振り返って一番心の残っていることは、ファッションショーです。デザイン科のなかで一番のビッグイベントであるファッションショーは私たちにとって大きな成長の場となりました。先輩を見て憧れていたファッションショーをいざ自分たちの手で作り上げたときの感動は計り知れないものでした。他にもたくさんの創作活動を行う際に快適に作業ができたのは龍野北高校ならではの豊富な設備があったからだと思います。

アートビジュアルデザイン類型で学んだ絵画の油絵や、パソコンでの動画制作などは、どれも龍野北高校でしかできない貴重な経験でした。龍野北高校に三年間通うことができて本当に良かったです。

３年６組（看護）　平田　歩羽

私がこの３年間で学んだことは、３つあります。１つめは、自主性です。私は、人前に立って発表したり、自主的に率先して行動することが苦手でした。しかし、この３年間で、自分の意見を自分の言葉で伝えることや率先して行動することの大切さを学び、これからの生活でも心がけていかなければいけないと思いました。

２つめは、協調性です。自分が困ったときは、１人で溜め込まず素直に周りを頼り、助けてもらうことが必要だと感じました。また、たとえ１人では乗り越えられない大きな壁があっても、みんなで手を取り合って支え合えば前に進んでいけることを学びました。これからは専攻科に進んでも、みんなで心を１つに団結し、助け合いながら共に歩んでいきたいです。

３つめは、人を思いやることの大切さです。実習で実際に患者さんと接したり、座学で看護に必要なことはなにかを考えたりする中で、１番大切なのは相手の思いに寄り添うことだと学びました。これは、患者さんに対してだけでなく、日ごろから必要なことだと思います。たとえ些細な事でも相手の為に自分は何ができるかを考え、相手の思いに耳を傾け、暖かく寄り添える人になりたいと思いました。

この３年間で心に刻まれたたくさんの思い出や培った知識、技術を忘れず、得た学びを活かしていこうと思います。そして、私の理想の看護師像に少しでも近づけるよう、これからも一生懸命頑張っていきたいです。

３年３組（総合福祉）　初井　妃香

龍野北高校で過ごした３年間は、辛いことも楽しいこともたくさん経験し、とても濃い３年間でした。入学してすぐ自宅学習や分散登校だったため、不安が大きい３カ月間でした。１年生の頃は初めての専門教科、初めての介護実習等、初めてのことばかりで驚きや困難さを感じることが多くありました。また、実習や科の行事を例年通り実施できず悔しい思いもすることがありましたが、クラス全員で工夫しながら１年を過ごしていきました。２年生になると、楽しかった思い出として修学旅行がありました。友人と楽しみ、過ごした４日間は最高の思い出となりました。医療的ケアという実技テストが始まり、時には先生や友達とぶつかり合うことがありました。それでもその辛さや苦しさを糧にして諦めずに何度も挑戦し続け、最後までやり遂げることができ、友人たちと笑い合い絆を深めることができました。３年生になると、３週間の介護実習では担当利用者様の生活を支援させていただき、３年間学んできたことや技術を確実に深め身につけ実践できました。これからは、この龍野北高校で過ごして得た学びを忘れずに新たな夢に向かって歩んでいきたいです。３年間の高校生活を龍野北高校で過ごせてよかったです。

定時制課程

３修制　髙野　潔

私は32歳でこの龍野北高校の定時制課程に入学しました。入学した年は新型コロナウイルスにより２ヶ月間の休校から始まったこと、32歳という年齢もあり、本当に学校生活を送っていけるのか不安になりました。そのような不安を抱いたまま学校が再開され、いざ登校が始まるとクラスメイトは10代が多く、ここでも馴染めるのか、ついていけるのか不安になり気持ちが沈んでしまいました。しかしそんな不安とは裏腹にクラスメイトは年齢など関係なく接してくれ学校生活を楽しめるようになりました。入学する前の私は定時制に良いイメージを持っていませんでしたが入学してみるとそのイメージとは逆で皆明るくイキイキとしており驚きました。先生方も怖い先生ばかりというイメージとは違い親しみやすく優しかったです。３年間学校に通い色々な行事がありましたが、どれも楽しく良い思い出になりました。３年間という短い時間でしたが学校生活は私にとって良い経験となりこれからもこの経験を活かしていきたいと思います。

４修制　三田　雄斗

定時制と聞くと、正直怖いイメージがあったが、この４年間を通して伝えられることがある。それは「固定観念なんて消しちまえ」と伝えたい。この龍野北高校定時制に入学して、すべてが変わった。毎日が楽しくなった。初めはみんなぎこちなく過ごしていた。でも日に日にクラスの輪が広がり、いつの間にか今のようにみんなが心一つに繋がっていた。毎日、学校へ行きしっかり授業を受け、休み時間にはみんなワイワイ楽しんでいた。そんなクラスが、この学校生活が学びや思い出をいっぱいくれた。もうすぐ卒業で一人一人違う道へ進むけれど、この４年間の思い出でみんなには、あと70年は生きてほしいな。最後に、同じクラスになったこと、同じ学校の生徒になったこと、出会えたことに感謝し、生きていきたいと思います。本当にありがとうございました。